

2012年度 日本文化人類学会 第4回 理事会 議事録

日時：2012年10月20日（土） 14:00～17:00
会場：東京外国語大学本郷サテライト 7階会議室

出席者：小泉、赤堀、池田、上杉、春日、亀井、岸上、窪田、栗本、佐々木、棚橋、出口、三尾、山本、和崎
委任状提出：綾部、小田、清水、曾我、高倉、中谷、松田、森山

議題

〔承認事項〕

1. 2012年度第3回理事会議事録
2. 新入会員（8名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 課題研究懇談会2012年度事業計画
 - ・各課題研究懇談会より提出された2012年度事業計画について配付資料に基づき報告の上、承認。
4. 吉川弘文館の写真転載依頼について
 - ・吉川弘文館より旧民族学振興会資料「九学会連合第二回連合大会における集合写真」（1948年5月、東京国立博物館大講堂）の坂野徹著『フィールドワークの戦後史』（仮）への転載依頼があり、庶務理事より学会歴史委員会へ検討を依頼したことを報告。委員会における検討の結果「転載可」とする旨の回答があり、この委員会回答を踏まえ総務会で承認、吉川弘文館に転載許可を通知したことを報告の上、事後承認。
5. シンポジウム等の学会後援について
 - ・稲盛財団より第28回（2012）京都賞記念ワークショップ思想・芸術部門「21世紀世界における人文学の可能性—翻訳という営みと言葉の間—」（11月12日開催）の協賛依頼があり、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。
 - ・前回理事会で後援を承認した国立民族学博物館主催国際シンポジウム（2012年11月11日開催）についてタイトル変更の申し出があり、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。新旧のタイトルは次の通り。【旧】「ヒーリング・オルタナティヴスと養生の文化」→【新】「ヒーリング・オルタナティヴス—ケアと養生の文化」
 - ・国立民族学博物館より下記の4件の後援依頼があり、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。
 - ①民博国際シンポジウム「漢族社会におけるヒト、文化、情報の移動——人類学的アプローチ」（2012年11月3日、4日開催）
 - ②民博国際シンポジウム「中国の社会と民族——人類学的枠組みと事例研究」（2012年11月24日、25日開催）
 - ③民博国際ワークショップ「グローバル支援のための実践人類学：研究と実践のキャリア・プランニング」（2012年12月15日開催）
 - ④民博国際シンポジウム「グローバル化における紛争と宗教的社会運動：オセアニアにおける共生の技法」（2013年1月26日開催）

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
 - ・2012年度朝日賞（人文）候補者の推薦を行ったことを報告。
 - ・第8回日本文化人類学会賞受賞候補者に関する評議員投票（10月15日締切）の開票結果を報告。
 - ・『民族学研究』及び『文化人類学』に掲載された論文の転載申請が3件あり、庶務理事が判断のうえ転載許諾を行ったことを報告。
 - ・日本学術会議より「新公益法人制度への移行状況等に関するアンケート」への回答依頼があり庶務理事が対応したことを報告。
 - ・大学評価・学位授与機構より「機関別認証評価委員会専門委員候補者推薦の依頼」があり、総務会で検討の上、日本文化人類学会第25期理事会から機関別認証評価委員会専門委員候補者（10名）を推薦することを決定したことを報告。その10名には会長から依頼し内諾を得たことを報告。

- ・山下晋司会員より、英国で出版予定の人類学事典の執筆を行うにあたり会員の研究地域・領域の集計データの提供依頼が事務局宛にあり、総務会で検討の上承認したことを報告。データの提供源の明示を依頼することを確認。
- 2. 会計理事報告
 - ・科学研究費補助金研究成果公開促進費説明会（10月9日）に出席したことを報告。平成25年度科研費の申込みは見合わせるが、次年度にむけて検討を継続することを確認。
- 3. 総務理事報告
 - ・2013年度の本学会主催公開シンポジウムについて松田素二氏が組織者を務めることを報告。
- 4. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき11件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
 - ・JASCA-INFOに配信する地区研究懇談会について、開催の1ヶ月前には広報理事へ情報を送信することを確認。
 - ・日本文化人類学会第47回研究大会のサイトを立ち上げ、第1回サーキュラーを公開したことを報告。
- 5. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：欠席の松田理事に代わり上杉理事より、投稿が少ない現状が報告され、投稿をふやすための方策について意見交換を行った。また、特集に関する査読体制についても検討が必要であることが報告され、それぞれ引き続き検討を行うことを確認。
 - ・JRCA編集委員会：Vol.13の刊行に向けて進捗状況を報告。また、*Déjà Lu* (WCAAの無料オンライン・ジャーナル)の企画者より編集主任宛に論文募集の案内があったことが報告され、それに対し日本文化人類学会奨励賞受賞者の論文を送ってはどうか等の意見が出された。理事からの意見を踏まえた上で和文誌・英文誌の両編集主任に検討を一任し、総務会の承認を経て、理事会で事後確認を得ることとした。
 - ・民博連携委員会：後援依頼の様式を定めたことを報告。
 - ・学会50周年記念事業検討委員会：小泉会長より、現在の状況について報告。特に、50周年記念事業の一つとして国立新美術館・国立民族学博物館・本学会の三者の協力により、民博の所蔵資料を国立新美術館で2014年に展示することについて三者会合をもったことを報告。この展示に関連する記念事業としてのシンポジウム等に関わる学会側担当者を検討する必要があることを確認。
 - ・研究大会運営検討委員会・研究発表査読委員会：欠席の綾部理事に代わり棚橋理事より、第46回研究大会準備委員会より第46回研究大会報告書が提出されたことを報告。資料に基づき内容を確認し、学会からの補助金返金の手続きについては事務局と準備委員会とでやり取りを行うこととした。
 - ・倫理委員会：委員の追加に関しては委員長が依頼を行い、承諾を得ることを確認。
 - ・学会賞選考委員会：第8回日本文化人類学会奨励賞の選考作業の経過を報告。
 - ・次世代育成セミナー実施運営委員会：欠席の森山理事に代わり棚橋理事より、エントリー者13名のうち論文草稿提出者が4名であったこと、調整の結果、東日本会場での開催は中止し、西日本会場（11月24日）のみで開催することを報告。11月24日のセミナー開催については内容が確定次第、JASCA-INFOと学会HPで周知を行うこと、その内容確認と配信については総務会へ一任することを承認。

[審議事項]

1. 学会賞選考委員会委員の委嘱について
 - ・第8回日本文化人類学会賞受賞候補者の開票結果を受け、学会賞選考委員会委員（5名）の委嘱が承認された。
2. J-STAGE 要旨登録サービスの廃止に伴うPASREGの導入について
 - ・赤堀理事より、これまで利用してきたJ-STAGEの演題登録システムが2012年3月末で廃止されたため、新たな演題登録システムとしてPASREGを導入することとその経緯について報告があり、承認された。また、この演題登録システムの変更に伴い、前回理事会で確認した第1回サーキュラーの内容に変更が生じたが、総務会で審議の上、担当校が作成したサーキュラーを承認したことを報告、追認された。
 - ・上述の公開済みの第1回サーキュラーに掲載の査読規定が旧規定であったため、お詫びと訂正を第2回サーキュラーとJASCA-INFOで配信することが提案され、承認された。

- ・三尾理事より、PASREG の初期設定料と使用料について今年度は予備費から支出し、次年度以降は予算に独立した費目を立てることが提案され、承認された。
3. 学会派遣による用務に伴う旅費の支給について
- ・三尾理事より、これまで学会派遣による用務に伴う旅費の支給については規定がなくその都度会計理事が判断していたことについて説明があり、今回新たに旅費に関する規定を定めることが提案された。審議の結果、「学会派遣による用務に伴う旅費の支給について（内規）」が承認された。
4. 入会申込書の一部修正について
- ・棚橋理事より、入会申込者から入会申込書の紹介者欄の署名・捺印に関する欄外の注意書きがわかりにくいとの指摘があったことが報告された。それを受け、入会申込書の署名は自署ないし（印字の場合には）印鑑のいずれかで良いように文言を修正することが提案され、承認された。具体的な修正については庶務理事に一任することとした。

以上